

コード No. 11084

**Anti-Human
VEGF (R11) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100 µg

はじめに : VEGF (Vascular Endothelial Growth Factor)は、ヒト下垂体前葉由来細胞株の培養上清から発見された、血管内皮細胞に特異性の高い増殖因子であり、同時に発見された VPF (Vascular Permeability Factor)と同一の因子であることが遺伝子解析の結果明らかになりました。タンパク質の三次構造の基本は、PDGF (Platelet Derived Growth Factor)と類似しており、PDGF ファミリーの一員とされています。ヒト VEGF は、2 つの同一ポリペプチドが、ジスルフィド結合によって連結したホモダイマーであり、スプライシングの違いにより4つのアイソフォームがあり、それぞれ 121 (VEGF121), 165 (VEGF165), 189 (VEGF189), 206 (VEGF206)個のアミノ酸より構成され、その中で VEGF165 が最もポピュラーに存在します。VEGF は、培養血管内皮細胞の増殖、遊走、プロテアーゼ活性の亢進、コラーゲンゲル内での血管様構造の形成など、血管新生のステップを促進し、*in vivo* でも血管新生や血管透過性を促進します。また、多くの腫瘍細胞から産生分泌され、そのレセプターは主に血管内皮細胞で発現していることから、腫瘍の血管新生との関連が考えられています。

免疫抗原 : Recombinant Human VEGF

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ (培養上清)
(X63 - Ag 8.653 × BALB/c マウス脾臓細胞)クローン名 : R11 サブクラス : IgG₁

精製方法 : Protein A 精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5年間安定
溶解後 -20°C 保存 2年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 1 µg/mL にて使用可能 (ホルマリン固定、パラフィン包埋切片)

文献 : 1. Ogura Y. *et al.* [Immunohistochemical analysis of expression of angiogenic factors and tumor angiogenesis in superficial bladder cancer] 表在性膀胱癌における血管新生因子の発現と腫瘍血管密度に関する免疫組織化学的検討 *Nippon Hinyokika Gakkai Zasshi* 1998; 89(5), 529-37.
2. Koide N, Watanabe H, Yazawa K, Adachi W, Amano J. Immunohistochemical expression of thymidine phosphorylase/platelet-derived endothelial cell growth factor in squamous cell carcinoma of the esophagus. *Hepatogastroenterology*. 1999 Mar-Apr; 46(26): 944-51.